

政府の「令和6年度当初予算案(令和5年度補正予算)」について(個表)

(単位:億円)

要望・提言内容	R6当初(R5補正) 具体的施策	R6当初 閣議決定額	R5補正 予算額	前年度国予算額		当初増減額 (増減率:%)	反映 状況	大分県としての考え方	部局				
				R5 当初	R4 補正								
1 地方財源の充実・確保について	地方交付税等の一般財源総額の確保・充実や地方財源の確保 ・社会保障関係費や公債費、地方創生に係る経費等を引き続き地方財政計画に的確に計上 ・子ども・子育て政策の強化のための安定的な地方財源の確保	【R6当初】 ○一般財源総額の確保・充実 ・定額減税による個人住民税減収分は、地方特例交付金により全額国費で補填(9,000億円) ・子ども・子育て政策の強化に係る地方財源の確保 (加速化プラン地方負担分2,000億円、単独事業1,500億円) ・給与改定、会計年度任用職員の勤勉手当支給に要する地方財源確保(5,000億円) ・自治体施設の光熱費高騰への対応(700億円)	【R5補正】 ○地方交付税総額に5,741億円が加算 ○物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が1兆5,592億円追加(低所得者向け支援1兆592億円、推奨メニュー分5000億円)	【地方一般財源総額】 656,980 <水準超経費除き 627,180>	(内訳) 地方交付税 186,671 臨時財政対策債 4,544 地方税等 465,765	地方交付税 11,584 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 15,592	【地方一般財源総額】 650,535 <水準超経費除き 621,635>	(内訳) 地方交付税 183,611 臨時財政対策債 9,946 地方税等 456,978	地方交付税 19,211 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 7,500	【地方一般財源総額】 +6,445 (+1.0%) <水準超経費除き +5,545> (+0.9%) (内訳) 地方交付税 +3,060 (+1.7%) 臨時財政対策債 ▲5,402 (▲54.3%) 地方税等 +8,787 (+1.9%)	◎	【R6当初】 ・一般財源総額については、前年度を0.6兆円上回る62.7兆円となり、十分な予算が確保された。 ・また、地方税等が個人住民税減収分の地方特例交付金との合計で実質増額、地方交付税も増額された一方、臨時財政対策債は減額されており、地方財政の健全化にも配慮されている。 ・さらに、子ども・子育て政策の強化に係る地方財源の確保など、きめ細かい配慮もなされた。	総務
2 安心元気・未来創造に向けた社会資本整備予算の確保について	社会資本整備や老朽化対策が着実に実施できる予算総枠の確保・財政措置の拡充 5か年加速化対策完了後も、引き続き、強靱化に必要な予算を別枠確保 社会資本整備が遅れている地方への重点配分	【R6当初】 ○地域における総合的な防災・減災対策、老朽化対策等に対する集中的支援(防災・安全交付金) ○成長の基盤となり、豊かな暮らしを支える社会資本整備の総合的支援(社会資本整備総合交付金)	【R5補正】 ○地域における防災・減災、国土強靱化の推進(防災・安全交付金等)	13,771 うち 5,065 (社交金)	3,495 うち 542 (社交金)	14,006 うち 5,492 (社交金)	3,144 うち 291 (社交金)	▲235 (▲1.7%) ▲427 (▲7.8%) +192 (+2.3%)	○	・頻発・激甚化する自然災害などに備えた防災・減災対策、インフラの老朽化対策、成長基盤となる道路整備など、社会資本の総合的な取組の推進に必要な予算が概ね確保された。 R4補+R5当 → R5補+R6当(17,150億円)(17,266億円) ・国土強靱化基本法の改正により、5か年加速化対策に続く強靱化の推進に道筋が見えてきたため、引き続き予算確保を国へ要望する。	土木		

※「反映状況」欄 ◎:要望・提言内容が反映されたもの、○:概ね反映されたもの、△:一部反映されたもの

【安心】

(単位:億円)

	要望・提言内容	R6当初(R5補正) 具体的施策	R6当初 閣議決定額	R5補正 予算額	前年度国予算額		当初増減額 (増減率:%)	反映 状況	大分県としての考え方	部局
					R5 当初	R4 補正				
3	県土強靱化のさらなる推進について	流域治水の推進に必要な財政的・技術的支援	8,522 (治水)	3,072 (治水)	8,518 (治水)	2,867 (治水)	+4 (+0.05%)	○	・玖珠川(天ヶ瀬温泉街)等の河川改修や城西川等の砂防事業の推進に必要な予算が概ね確保された。	土木
		道路ネットワークの機能強化に向けた整備促進・支援	21,183 (道路整備)	4,330 (道路整備)	21,183 (道路整備)	3,745 (道路整備)	0 (0%)	○	・県政の発展や暮らしを支える強靱な道路ネットワークの整備促進に必要な予算が概ね確保された。	
		大分港海岸保全施設の整備促進	322 (海岸)	204 (海岸)	322 (海岸)	181 (海岸)	0 (0%)	○	・大分港海岸の整備促進に必要な予算が概ね確保された。	
		老朽化対策の着実な実施に向けた予算の確保	7,628 (老朽化対策)	1,642 (老朽化対策)	7,388 (老朽化対策)	1,636 (老朽化対策)	+240 (+3.2%)	○	・橋梁やトンネル等重要インフラの老朽化対策の整備推進に必要な予算が概ね確保された。	
		5か年加速化対策完了後も、引き続き、強靱化に必要な予算を別枠確保	—	13,022 (5か年加速化対策全体) 10,749 (国交省分)	—	12,502 (5か年加速化対策全体) 10,358 (国交省分)	+520 (+4.0%) +391 (+3.6%) ※補正増減額	○	・R5補正予算により、流域治水の推進、インフラの老朽化対策など、県土強靱化の整備推進に必要な予算が概ね確保された。 ・国土強靱化基本法の改正により、5か年加速化対策に続く強靱化の推進に道筋が見えてきたため、引き続き予算確保を国へ要望する。	
4	安岐ダム再生・令和5年豪雨災害からの早期復旧・復興について	安岐ダム再生事業の令和6年度新規事業化	8,522 (治水)	3,072 (治水)	8,518 (治水)	2,867 (治水)	+4 (+0.1%)	○	・安岐ダム再生事業の令和6年度新規事業化に必要な予算が概ね確保された。 ・国に対して新規事業化を要望していく。	土木
		令和5年豪雨災害からの早期復旧・復興への支援	579 (災害復旧等)	3,275 (災害復旧等)	575 (災害復旧等)	3,268 (災害復旧等)	+4 (+0.7%)	○	・災害復旧事業に必要な予算が概ね確保された。	

※「反映状況」欄 ◎:要望・提言内容が反映されたもの、○:概ね反映されたもの、△:一部反映されたもの

【安心】

(単位:億円)

要望・提言内容	R6当初(R5補正) 具体的施策	R6当初 閣議決定額	R5補正 予算額	前年度国予算額		当初増減額 (増減率:%)	反映 状況	大分県としての考え方	部局
				R5 当初	R4 補正				
5 国土強靱化に向けた農林水産施設の整備と流域治水対策の推進について	<ul style="list-style-type: none"> ・ため池、農業水利施設の防災・減災対策と流域治水対策 ・山地災害危険箇所における防災・減災対策 ・漁港施設や海岸施設の耐震・津波、長寿命化対策 ・5か年加速化対策完了後の強靱化に必要な予算の別枠確保 	—	農業農村 857 治山/森林 440 漁業/海岸 286	—	農業農村 817 治山/森林 420 漁業/海岸 258	農業農村 +40 (+4.9%) 治山/森林 +20 (+4.8%) 漁業/海岸 +28 (+10.9%) ※補正増減額	○	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策の推進について、県で必要な予算が概ね確保された。 ・国土強靱化基本法の改正により、5か年加速化対策に続く強靱化の推進に道筋が見えてきたため、引き続き予算確保を国へ要望する。 	農林水
6 保育の充実について	保育士の増員に対する運営費支援の充実 ※職員の配置改善 1歳児:6対1→5対1 4・5歳児:30対1→25対1	16,617 (全体運営費)	—	15,948 (全体運営費)	—	+669 (+4%)	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置基準について、4・5歳児は要望どおり改善し、必要な予算が確保された。 ・1歳児についても「こども未来戦略」において、令和7年度以降の改善が示されている。 	福祉
	保育士等のさらなる処遇改善の実現	【R6当初】 ○R6年度分 保育士等の処遇改善 ・令和5年人事院勧告を踏まえた対応(人件費の改定率は+5.2%) ※全体運営費の一部 【R5補正】 ○R5年度分 保育士等の処遇改善 ・令和5年人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定内容に準じた対応(令和5年4月まで遡及) ○システム構築による、処遇改善に係る費用の使途の見える化 ※全体運営費の一部	16,617 (全体運営費)	625	15,948 (全体運営費)	248	+669 (+4%)	○	
7 社会的養育の充実について	里親支援センターの柔軟な制度設計や乳幼児緊急一時保護の制度化等、里親制度の充実	3,829 の内数	—	3,538 の内数	—	—	○	<ul style="list-style-type: none"> ・里親制度の充実など、社会的養育等については、前年を超える予算が確保された。 ・里親支援センターの柔軟な制度設計等本県が要望した制度の実現については、引き続き要望していく。 	福祉
	こどもの権利擁護の効果的な全国展開に向けた意見聴取の仕組みづくりと所要の財政支援	3,829 の内数	—	3,538 の内数	—	—	○	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの権利擁護の環境整備に向けた予算は概ね確保されたが、取組が着実に実施できるよう引き続き要望していく。 	

※「反映状況」欄 ◎:要望・提言内容が反映されたもの、○:概ね反映されたもの、△:一部反映されたもの

【元気】

(単位:億円)

	要望・提言内容	R6当初(R5補正) 具体的施策	R6当初 閣議決定額	R5補正 予算額	前年度国予算額		当初増減額 (増減率:%)	反映 状況	大分県としての考え方	部局	
					R5 当初	R4 補正					
8	農業の成長産業化に向けた農業農村整備の計画的な実施について	・農業の成長産業化を加速する農業農村整備に必要な当初予算の確保 ・国営「駅館川地区」「西国東地区」の計画的な推進	【R6当初・R5補正】 ○農業農村整備事業 4,463 ・国営農地再編整備事業「駅館川地区」 の内数 4,463 ・海岸保全施設整備事業「西国東地区」 の内数	農業農村 4,463 「駅館川」 1,777 「駅館川」 6 「西国東」 4	農業農村 4,457 「駅館川」 21 「西国東」 15	農業農村 1,677 「駅館川」 8 「西国東」 5	+6 (+0.1%)	○	・農業農村整備の推進に必要な予算が昨年以上に確保された。引き続き、県内実施地区で必要となる当初予算の獲得に向け取り組んでいく。 ・国営事業の計画的な実施に必要な予算が概ね確保された。	農林水	
		国営かんがい排水事業の事業化に向けた「地区調査」から「全体実施設計」への着実な移行	【R6当初】 ○国営かんがい排水事業全体実施設計	—	—	—	—	—	◎	・全体実施設計への移行見込み。	
9	大野川上流地区の農業振興に向けた農業用水の安定供給について	計画的な営農推進に必要な安定した農業用水の確保	—	—	—	—	—	—	—	・大野川上流地区の営農推進に必要な安定した農業用水の確保を、引き続き国に求めていく。	農林水
		浸透原因の早期究明とダム利水機能の発揮	—	—	—	—	—	—	—	・国は、浸透メカニズム把握に向けた調査をR4年度からR6年度までの3年間で実施することとしているが、早期に浸透原因を解明し、ダムの利水機能を確保するよう、引き続き国に求めていく。	
		大谷ダム健全化に向けた取組への支援	【R6当初】 ○農村地域防災減災事業	3,326 の内数	—	3,323 の内数	—	—	—	・現在、国に採択申請しており、3月末の箇所付けに向けて、引き続き要望していく。	
10	大径材活用と再造林による循環型林業の確立について	林業・木材産業の持続的な発展に必要な予算の確保 ・大径材を加工するための施設整備に対する支援	【R6当初】 ○林業・木材産業循環成長対策 【R5補正】 ○花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策 ○林業・木材産業国際競争力強化総合対策	64	213	71	224	▲7 (▲9.9%)	◎	・大径材加工施設の整備については、当初と補正予算の両睨みで要望していたが、補正予算において要望を満たす内示を受けた。	農林水
		・公共造林事業予算の確実な確保	【R6当初・R5補正】 ○公共造林事業	1,254 の内数	183	1,252 の内数	156	+27 (+17.3%) ※補正増減額	○	・補正予算では、R5事業について満額執行可能な予算が確保された。引き続き、事業執行に必要な当初予算の獲得に向け取り組んでいく。	

※「反映状況」欄 ◎:要望・提言内容が反映されたもの、○:概ね反映されたもの、△:一部反映されたもの

【元気】

(単位:億円)

要望・提言内容	R6当初(R5補正) 具体的施策	R6当初 閣議決定額	R5補正 予算額	前年度国予算額		当初増減額 (増減率:%)	反映 状況	大分県としての考え方	部局
				R5 当初	R4 補正				
11 持続的な賃上げ等 に向けた環境整備 について	賃上げに取り組む中小企業への補助金拡 充や税制措置等による生産性向上の支援	8	180	10	100	+78 (+71%) ※補正含む		・中小企業の賃金引上げにつながる生 産性向上等の支援に必要な予算が確 保された。 ・業務改善助成金は、前年を上回る予 算が確保された。 R4補+R5当 → R5補+R6当 (110億円) (188億円)	商観労
		—	1,000	—	—	皆増 ※補正増減額	◎		
		—	1,000	—	—	皆増 ※補正増減額			
	中小企業の実情に応じた資金繰り支援や 消費喚起等の幅広い事業者支援策の展開	【R6当初、R5補正】 ○中小企業対策費 ・物価高や、構造的な人手不足等、厳しい経 営環境に直面する中小企業等に対する価格 転嫁対策や資金繰り、省人化投資等を支援	1,082	5,420	1,090	12,373	▲8 (▲1%)	○	・物価高、人手不足等の厳しい経営環 境に対応するための価格転嫁対策や 資金繰り支援等に必要な予算が概ね 確保された。
価格転嫁の円滑化に向けた、パートナ ーシップ構築宣言のインセンティブ拡充や下 請取引の監視強化等の推進	【R6当初、R5補正】 ○中小企業取引対策事業 ・価格交渉促進月間のフォローアップ調査 に基づく企業名の公表や、大臣名での経営 トップに対する「指導・助言」。下請Gメンの 増強による取引実態の把握を強化。	28	8	24	5	+4 (+17%)	○	・中小企業の取引適正化の促進に必要 な予算が概ね確保された。 ・トラック輸送事業者等の価格転嫁促 進に必要な予算が概ね確保された。	企画
トラック輸送の荷主に対する燃料サー チャージ制度の理解促進									

※「反映状況」欄 ◎:要望・提言内容が反映されたもの、○:概ね反映されたもの、△:一部反映されたもの

【未来創造】

(単位:億円)

要望・提言内容		R6当初(R5補正) 具体的施策	R6当初 閣議決定額	R5補正 予算額	前年度国予算額		当初増減額 (増減率:%)	反映 状況	大分県としての考え方	部局
					R5 当初	R4 補正				
13	道路ネットワークの 充実について	広域道路ネットワークの整備促進・支援 ・中九州横断道路のミッシングリンク解消 「大分宮河内～犬飼」計画段階評価の加速 案①別線整備(山側ルート)の選定、(仮) 吉野ICの設置 「竹田阿蘇道路」整備促進	21,183 (道路整備)	4,330 (道路整備)	21,183 (道路整備)	3,745 (道路整備)	0 (0%)	○	・県政の発展や暮らしを支える強靱な 道路ネットワークの整備促進に必要な 予算が概ね確保された。	土木
		・中津日田道路のミッシングリンク解消 「三光本耶馬溪道路」「耶馬溪山国道路」 「日田山国道路」整備促進・支援								
		・東九州自動車道の4車線化 「院内～速見」「臼杵～佐伯」早期事業化 「宇佐～院内」「大分宮河内～臼杵」「津久 見～佐伯」整備促進								
		・庄の原佐野線の整備への支援 「下郡工区」「下郡・明野工区」整備								
		・将来に向けた豊予海峡ルート構想の検 討への支援								
14	東九州新幹線等の 整備について	・「第二期整備計画」の策定、東九州新幹線 及び豊予海峡を通じて連結する四国新幹 線の「整備計画路線」への格上げ ・地方公共団体の負担軽減のための財政 措置の拡充	2.46 の内数	-	2.94 の内数	-	-	-	・東九州新幹線等の基本計画路線に関 する進捗はなかったが、整備新幹線に ついては昨年度と同額の予算(804 億円)が確保され、着実な進捗が期待 できる。 ・引き続き、国等に対して東九州新幹 線等の整備計画路線への格上げ等を 要望していく。	企画
		○幹線鉄道ネットワーク等に関する調査 ・基本計画路線を含む幹線鉄道ネットワ ーク等の今後のあり方を検討するため、効果 的・効率的な整備手法等に係る具体的な調 査を実施								
15	九州の東の玄関口 「大分港・別府港」の 機能強化について	大分港(大在西地区)のRORO船ターミナ ル整備促進、支援 -9m岸壁(1バース目)の令和6年度供用 開始	2,449 (港湾)	924 (港湾)	2,444 (港湾)	803 (港湾)	+5 (+0.2%)	○	・大分港は、港湾整備の促進に必要な 予算が概ね確保された。 ・別府港については、引き続き新規事 業化に向けて要望していく。	土木
		別府港(石垣地区)の整備促進、支援 国直轄による-8m岸壁への改良、防波堤 延伸・撤去等の新規事業化								

※「反映状況」欄 ○:要望・提言内容が反映されたもの、○:概ね反映されたもの、△:一部反映されたもの

【未来創造】

(単位:億円)

	要望・提言内容	R6当初(R5補正) 具体的施策	R6当初 閣議決定額	R5補正 予算額	前年度国予算額		当初増減額 (増減率:%)	反映 状況	大分県としての考え方	部局	
					R5 当初	R4 補正					
16	公共交通及び物流 の維持・確保につい て	ドライバーの労働環境の改善及び確保対 策等の強化 (特に特定技能の対象に自動車運送業[バ ス・タクシー・トラック]を追加)		—		—	—	—	△	・特定技能の対象として、運転手の追 加が検討されている。引き続き、国に 対して特定技能の対象に自動車運送 業の追加を要望していく。	企画
		荷主に対する燃料サーチャージの理解促 進	【R6当初】 ○物流の2024年問題の解決等に向けた 物流の革新 ・トラックGメンが実施する悪質な荷主・元 請け運送事業者への監視・指導強化等による 商慣行の見直し	0.3	2.16	—	—	皆増	◎	・トラック輸送事業者等の価格転嫁促 進に必要な予算が確保された。	
		公共交通のEVシフトへの補助金の予算額 の確保	【R6当初】 ・鉄道・バスに係るEV車両・自動運転車両な どの先進車両導入の支援	214 の内数	—	15	—	—	○	・公共交通のEVシフトに必要な予算が 概ね確保された。	
17	コンビナートを中核 とした地域のGXの 推進について	カーボンニュートラルとコンビナートの持 続的発展の両立に向けた拠点形成に対す る継続的支援	【R6当初、R5補正】 ○水素等供給基盤整備事業 ・水素等の供給基盤の整備に向けた事業性 調査(FS)に対する財政支援 ○水素等のサプライチェーン構築のための 価格差に着目した支援事業 ○先進的CCS支援事業 ○先進的CCS支援等事業	15 89 12 —	— — — 204	— — 35 —	— — — —	+81 (+331%)	○	・水素等の供給基盤の環境整備等に必 要な予算が概ね確保された。	商観労
		カーボンニュートラルポート形成に向けた 計画策定に対する財政的・技術的支援	【R6当初】 ○CNPの形成等の交通分野における脱炭 素化の推進 【R5補正】 ○インフラ、交通、物流等の分野におけるG Xの推進	2,449 (港湾)	924 (港湾)	2,444 (港湾)	803 (港湾)	+5 (+0.2%)	○	・カーボンニュートラルポート形成に向 けた計画策定への支援に必要な予算 が概ね確保された。	土木
		地熱等の再生可能エネルギー開発の加速	【R6当初】 ○地熱発電の資源量調査・理解促進事業 ・国内の事業者が行う調査に係るコスト等 を低減し地熱開発を促進	120	—	102	—	+18 (+18%)	○	・地熱資源の開発促進に必要な予算が 概ね確保された。	商観労

※「反映状況」欄 ◎:要望・提言内容が反映されたもの、○:概ね反映されたもの、△:一部反映されたもの

【未来創造】

(単位:億円)

18	アジア初の水平型宇宙港の開港について	要望・提言内容	R6当初(R5補正) 具体的施策	R6当初 閣議決定額	R5補正 予算額	前年度国予算額		当初増減額 (増減率:%)	反映 状況	大分県としての考え方	部局
						R5 当初	R4 補正				
		海外企業が有する宇宙関連技術の国内活用に係る政府間調整の加速	—	—	—	—	—	—	—	・引き続き、宇宙港の実現に向けて国への要望等を行う。	商観労
		水平型宇宙港の実現に向けた関連法令・基準等の整理・整備	—	—	—	—	—	—	—	・引き続き、宇宙港の実現に向けて国への要望等を行う。	
		水平型宇宙港の施設・設備等のハード面の整備に対する財政的な支援	—	—	—	—	—	—	—	・引き続き、宇宙港の実現に向けて国への要望等を行う。	
		宇宙港を核とした地域の経済循環創出に資する宇宙関連産業の積極的な振興	【R6当初、R5補正】 ○宇宙戦略基金の創設 ・JAXAに新基金を設置し、民間企業・大学等における商業化、技術実証等の支援 ○宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業 ・衛星データを利用した新たなビジネスの開発等に対する支援	— 20	3,000 —	— 19	— —	— +1 (+5%)	○	・宇宙ビジネス参入支援に必要な予算が概ね確保された。	
19	GIGAスクール構想の更なる推進に向けた学習環境の整備について	ICT機器の整備・更新に対する支援拡充	【R5補正】 ○公立小中学校等の端末整備 ・都道府県に基金を造成し、令和7年度までの1人1台端末の更新に必要な経費を計上	—	2,643	—	—	—	◎	・児童・生徒の1人1台端末の更新について、補正予算において要望を満たす額が確保された。	教育
		ICT機器の整備・更新に対する支援拡充	【R6当初、R5補正】 ○私立学校等の端末整備 ・私立学校等が整備する1人1台端末の更新費用の一部を補助	21	6	14	3	+10 (+59%) ※補正含む	◎	・私立学校整備の1人1台端末の更新に対する補助率が補正予算において引上げられた(1/2→2/3)。 ・前年を上回る予算が確保された。 R4補+R5当 → R5補+R6当 (17億円) (27億円)	生環
		ICT支援員など人的支援の更なる拡充	【R6当初、R5補正】 ○GIGAスクール運営支援センター整備事業 ・都道府県等が民間事業者へ業務委託するための費用の一部を補助	5	35	10	71	▲5 (▲50%)	△	・ICT支援員など人的支援に係る予算は継続して確保されたものの、補助率が変更(1/2→1/3)されていることから、引き続き要望していく。	教育
		遠隔授業の要件(受け手側の教員配置)緩和の恒常化	【R6当初】 ○各学校・課程・学科の垣根を超える高等学校改革推進事業 ・遠隔等を活用した学びの機会の充実ネットワークを構築	1	—	—	—	皆増	○	・中山間地域の小規模高等学校へ向けた遠隔授業について、要件緩和の恒常化が認められる見込み。	教育

※「反映状況」欄 ◎:要望・提言内容が反映されたもの、○:概ね反映されたもの、△:一部反映されたもの